

すこやか ネット おばねっ子

二ツ森ゆう大学のあゆみと、「やまがた未来賞」受賞



二ツ森ゆう大学
学長 西塚 政悦

二ツ森ゆう大学は、「地域の子どもは地域で育てる」ことを目標に、平成14年の設立以来、今年で24年目を迎えました。名称は地域のシンボルである二ツ森山にちなんでおり、「ゆづ」の言葉に①遊び、②友達、③悠々(ゆとり)の三つの願いを込めてスタートしました。

昨年10月、これまでの目標や活動が認められ、(公財)日本教育公務員弘済会山形支部主催の「やまがた未来賞」を受賞することができました。新聞や市報でもご紹介いただき、大変光栄に存じます。これもひとえ

に、先輩方の長年のご努力、地域の皆様のご協力、公民館職員の皆様の献身的な支え、そしてスタッフの安全確保と指導への尽力の賜物と、心より感謝申し上げます。



す。なお、副賞として頂戴した40万円は、鳥や山々を観察するための双眼鏡や、水生生物観察用の水中メガネや魚網、深雪でも歩行可能なスノーシューなどの整備に活用させていただきました。



本会では、地域の児童・生徒を対象に年間10回前後の体験活動を実施しています。5月の二ツ森女山登山では、自然に触れながら山頂で味わうおにぎりのおいしさを体験します。6月の寺町ブナ林散策と10月のいも煮会は小学校の学校行事にもなり、全校児童が参加しています。夏の川遊びとバーベキューでは、安全に配慮しながら川と親しみ、漁業組合の協力で魚突きも体験します。流しそうめんやそば打ち、ピザ焼き教室、木工クラフトなど、食やものづくりの活動も好評で

す。冬は雪像づくりやそり滑りに加え、雪板やスノーシューも取り入れ、玉野の冬を楽しむ力を育てています。

活動資金は参加料と玉野

地区からの協力金によって賄われています。おかげさまで格安の参加料での運営が可能となり、参加者は幼児・児童約270名、大人約70名、スタッフ延べ約100名、合計440名ほどにのびります。

最後になりますが、令和10年度には市内5つの小学校が1校に統合され、地域の良さを知る活動はより重要になりつつあります。また、来年度4月からは、本会の卒業生である若い方がスタッフとして加わることも決まり、会にとつて明るい話題となっています。今後とも地域の皆様とともに歩み、子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。



「幼児共育ふれあい広場」

影絵を楽しもう

ひまわり保育園 園長 斎藤 徳和

ひまわり保育園にて、毎年開催させていただいております祖父父母参観において、今年度「幼児共育ふれあい広場」として、9月6日に市内の影絵サークル「どんぴんすかんこ」さんをお招きし、祖父父母と楽しむふれあい活動、影絵鑑賞を楽しみました。ねずみのすもとり、おむすびころりん、かちかち山と3つのお話を演じてくださり、初めてみる影絵に子どもたちは興味深く話に聞き入り、家族の方々も昔ながらの手法の影絵に食い入るように、皆その世界に吸い込まれていました。終了後、子ども達が生懸命おじいちゃん・おばあちゃん達に鑑賞した影絵について話をし、それについて楽しそうに答えている姿がとても印象的でした。

核家族が進み、なかなか祖父父母との同居している家族が少なくなり、触れ合う機会、コミュニケーションを取るツール、共通の話題がどんどん少なくなるなか、こういった機会を設けることにより、大変良かったと思います。お忙しい中ご講演いただきました「どんぴんすかんこ」さん、ごつもありがたうございました。



「やまがた子育て講座」

夢に向かって

尾花沢市立宮沢小学校 教頭 鈴木 修一

本校では、12月の授業参観の後に教育講演会を行いました。今年度は、「子どもたちも一緒に」講演会に参加することにしました。

テーマは「夢に向かって」。尾花沢市出身の「パフォーマー たつみ」さんと同じ事務所のフリーアナウンサー「大友まさみ」さんのお二人に、夢に向かってどう歩んできたのかなどをお話していただきました。

講演会の前半は、お二人のフリートーク。さすがのやり取りで、お二人の小さかったころの夢やこれまでのそれぞれの歩みを、とても分かりやすく話していただきました。後半は、子どもたち（保護者も？）が待ちに待った、たつみさんの大道芸です。巧みなトークとコール&レスポンスで、会場は大盛り上がり！たつみさんの「夢」に対する熱い思いも伝わり、素敵な時間を過ごすことができました。





「はなづくらぐみ」や申します

代表 三井 勉

私たちがらいべえとくらぶは、①尾花沢市の魅力の再発見 ②家族間の交流 ③ごも同士の交流 の三つの目的を達成するために平成31年に設立した自然体験活動団体です。

活動内容としては、地域資源（人的・物的）を活用した季節感やSDGsを意識した体験活動や諸クラフト活動、市内のマルシェや諸文化活動での出展などをしてきました。

今年度は、7月に玉野・福原の学童保育所へ推しうちわとマーブルングによるオリジナルがきつくりを行いました。参加してくれた子どもたちは、各々作ったものを見せ合いながら楽しむことができました。11月には、尾花沢市民文化祭にて、『ものづくりクラフト体験〜五感を使って愉しもう〜』とし、ちよっとした自然のものを使ったクラフト活動を行いました。

また、福原地区ふれあい作品展では、『フクロウの飾りと毛糸バスケットワークショップ』を行い、参加者のみなさんと和気あいあいとした時間を過ごすことができました。

これからも、尾花沢市の魅力を伝えるべく、さまざまな活動を展開していきますので、今後ともよろしくお願いたします。

私たちと一緒に活動したいという方は、ふらいべえとくらぶのSNSがございますので、そちらからご一報いただくと、各団体等のニーズに合わせて、企画運営のお手伝いをいたします。

ぜひみなさんも、尾花沢をあそびつくしましよー！



今年度の「家庭教育支援事業」について

「家庭教育支援」の本部事業として、今年度2回の「子育て講座」を開催しました。第1回目は「スマホと上手につきあえる子育て術」大切なのは持たせるとき」と題して、山形県警察本部少年サポートセンター最北の佐竹めぐみ氏よりお話をいただきました。10年ほど前までは高校生からスマホを持つのが定番でしたが、最近は小学校低学年から所持することも珍しくなくなっています。それに伴って、学校現場でもスマホによる様々なトラブルや問題が起きています。こういった現状を受けて、小学校低中学年や就学前の子どもを持つ保護者やその関係者の皆様に、「スマホにはどのような危険性があるか」「トラブルを起こさない、巻き込まれないようにするために大切なことは何か」などについて具体的に知っていただくことを目的にこの講演会を開催しました。佐竹さんからは、具体的な事例を挙げながら大切なポイントについて分かりやすく指導していただきました。（11月28日開催）

第2回目の「子育て講座」は、山形県カウンセリング協会会長の伊藤洋子氏をお招きして、「たくましい子に育てる子育て術」子どもの自尊感情を高める大人の関わり方」というテーマでお話していただきました。「自尊感情を育む」ためには、乳児期に基本的信頼感を育むこと、幼児期には子どもにとって親や家庭が安全な避難所・安心の基地になること、児童期には子どもの良さを見つけ褒めて承認すること、思春期には家族も含めて周りの大人がよい聞き手となり子どもに共感的に接することなど、心理学的な側面から、またカウンセラーとしての実践の側面から、具体的な事例を挙げてお話ししていただきました。参加した方々は、何度もつなぎながら熱心に耳を傾けていました。子育て真っ最中の皆さんには是非聞いていただきたいと思う内容でした。（3月28日開催）

参加者が少ないという大きな課題はありますが、「『子育て』を学び考える場」として、来年度も「子育て講座」を継続していきたいと思っております。一人でも多くの皆様の参加をお待ちしています。



●家庭教育支援

■やまがた子育て講座

場 所	開催日	内 容
宮沢小学校	7月25日	演題「ネット依存について」 講師：県家庭教育アドバイザー 伊藤 洋子 氏
	12月19日	演題「夢に向かって」 講師：パフォーマーたつみ氏・大友 まさみ 氏
悠美館 ハイビジョンホール	11月28日	演題「スマホと上手につきあえる子育て術」 ～大切なのは持たせるとき～ 講師：山形県警察本部少年サポートセンター最北 総括少年補導専門員 佐竹 めぐみ 氏
	2月28日	演題「たくましい子に育てる子育て術」 ～子どもの自尊感情を高める大人の関わり方～ 講師：県家庭教育アドバイザー 伊藤 洋子 氏

■幼児共育ふれあい広場

場 所	開催日	内 容
ひまわり保育園	9月6日	テーマ：祖父母と楽しむふれあい活動 影絵鑑賞 講師：影絵サークル「どんぴんすかんこ」
ときわ保育園	10月4日	テーマ：「親子で楽しく体を動かそう」 ボールを使った運動遊び 講師：リベルタサッカースクール 斉藤 颯亮 氏
よつばこども園	10月10日	テーマ：「影絵による物語や影絵の楽しさを知ろう」 講師：影絵サークル「どんぴんすかんこ」
玉野保育園	12月16日	テーマ：「音楽鑑賞を通じた親子のふれあい」 講師：音楽家 石谷 脩悟 氏
おもだか保育園	12月23日	テーマ：「こどもとメディアのつきあい方」（講演） クリスマスコンサート 講師：音楽アレンジャー・システムエンジニア 伊藤 飛佳 氏 ほか

中高生ボランティアサークル『風ぐるま』

私は、今年度、多くのボランティアに参加してきました。学校内のボランティア要請だけでは知ることのなかったイベントに参加できたことや、ボランティア活動を通して交流し、イベント参加者や他のMYボランティアサークルのメンバーの方々とは知り合い一緒に活動できたことが、一番のやりがいでした。

今年はサークル活動や地域おこし活動もがんばります。

【風ぐるま 高橋 伊一郎】



MYボランティアスタートアップセミナー



よつばこども園夏祭り